

令和6年度青少年海外派遣研修事業について

花巻市に住所を置く中学2年生を海外に派遣し、国際的視野を広げるとともに、国際協調の精神を養い、花巻のまちづくりに寄与する青少年の育成を目指します。

- 1 主 催 公益財団法人花巻国際交流協会
- 2 共 催 花巻市（予定）、花巻市教育委員会（予定）
- 3 派遣先及び派遣時期（現地と調整中）と渡航費用（見込額）

派遣先	派遣時期（予定）	渡航費用（見込額）
(1) ホットスプリングス市 (アメリカ合衆国アーカンソー州)	令和6年10月28日（月）～ 11月6日（水）（10日間）	47万円程度 (自己負担16万円程度)
(2) ペルンドルフ市 (オーストリア共和国ニーダーエスタライヒ州)	令和6年11月5日（火）～14日（木） (10日間)	
(3) ラットランド市 (アメリカ合衆国バーモント州)	令和6年10月28日（月）～ 11月6日（水）（10日間）	
(4) クリントン村 (アメリカ合衆国ウィスコンシン州)	令和6年10月28日（月）～ 11月6日（水）（10日間）	

※渡航費用の3分の2以内で協会が助成しますので、自己負担は渡航費用の約3分の1です。

(※原油高の影響により航空運賃が高騰しており、昨年同様自己負担も高くなっています。)

花巻市要保護及び準要保護児童生徒就学援助費対象者が派遣生徒に決定された場合は、渡航費用の全額を当協会が助成します。なお、上記の渡航費用以外の費用（パスポート取得費、旅行準備に要する経費、旅行傷害保険料（※加入必須）等）は参加者の負担とします。

4 派遣人員

選考試験で選ばれた生徒を、それぞれの派遣先に各6名、合計24名派遣します。

5 応募条件と選考試験等について（詳しくは学校に配布した実施要項を必ずご覧ください）

- (1) 花巻市に住所を置く中学2年生で、次の要件を満たし学校長の推薦を得た者であること。
- (2) 派遣の経験を活かして成長が期待でき、将来社会に貢献できる人材であること。
- (3) コミュニケーションをとるのに十分な英語力を有すること。
- (4) 派遣後は花巻市及び当協会の国際交流活動に協力すること。
- (5) 心身ともに健全で協調性と積極性のある者であって国際的活動に関心があること。
- (6) 花巻市の代表としての自覚を持ち、明確な目的意識及び研修テーマをもって参加できること。
- (7) 令和6年度及び令和7年度に当協会または市が受け入れるホームステイ事業を引き受ける意思があること。あるいはホストファミリーを紹介できること。
- (8) 協会が主催する事前研修と事後研修並びに国際フェアでの報告会や各種報告会に出席できること。また、研修成果がわかる充実した内容の研修報告書（※2,000文字以上）を提出できること。
- (9) 合格後であっても応募資格を満たさないことが明らかな場合は合格を取り消すことがあること。

6 申込書の提出等

実施要項・申込書等は担当の先生から受け取り、応募書類に必要事項を記入の上、所属学校に提出してください。詳しい内容につきましては右下のQRコードからご確認下さい。

※学校では、取りまとめ後令和6年5月31日（金）までに協会に提出して下さい。

7 お問い合わせ先

公益財団法人花巻国際交流協会 電話：0198-26-5833 FAX：0198-26-5855



花巻市国際交流姉妹都市等の紹介（派遣先の概要）

アメリカ合衆国

アーカンソー州ホットスプリングス市

花巻市との交流：両市が美しい自然や温泉に恵まれた都市という多くの共通点を持っていることが縁で、平成5年(1993年)1月15日に姉妹都市提携。姉妹都市交流事業として青少年海外派遣、ホットスプリングス市から教員・高校生・市民訪問団の受入交流などが行われている。昨年は姉妹都市提携30周年を迎え、市民訪問団がホットスプリングス市を訪問する記念事業など様々な交流事業が行われた。

人口：約38,109人(2022年)

面積：85.5平方km

気候：夏は蒸し暑く、冬は比較的温暖。わずかながら積雪もある。

ルート：成田空港⇒ダラス・アトランタ空港(約12時間)

⇒リトルロック空港(約1時間)

⇒ホットスプリングス市(陸路1時間)

特徴：温泉の町で、観光地・保養地として有名。ホットスプリングス国立公園に指定されている区域内にあるバスハウス・ロウは、国家歴史登録文化財および国定歴史建造物に指定されている。また、市街中心部には、ギャラリーが数多くあり、芸術の振興にも力が注がれている。



オーストリア共和国

ニーダーエスタライヒ州ベルンドルフ市

花巻市との交流：エーデルワイス(オーストリア国花)とハヤチネウスユキソウ(早池峰の花)がよく似ているという花がとりもつ縁で、合併前の大迫町と昭和40年(1965年)に友好都市提携。平成18年(2006年)一市三町の合併を受けて新しい花巻市とベルンドルフ市は提携継続の調印。令和2年に友好都市提携55周年を迎えた。現在も青少年海外派遣事業や海外青少年受入事業により相互交流が行われている。

人口：約8,956人(2023年)

面積：17.57平方km

気候：四季があり花巻に似ている。寒暖の差が大きく、冬は寒さが厳しい。

ルート：成田空港⇒フランクフルト空港(約12時間)

⇒ウィーン空港(約1時間)

⇒ベルンドルフ市(陸路約1時間)



特徴：主な産業は銀食器や松ヤニ、ステンレス加工。芸術と伝統を重んじ、美しい建築物でも有名。

アメリカ合衆国

バーモント州ラットランド市

花巻市との交流：当時の石鳥谷町長が、アールラム大学の教授から、教え子を通じてラットランド市長を紹介され、姉妹都市交流について意気投合したことから昭和61年(1986年)に姉妹都市提携。昭和63年(1988年)からは「青少年交換留学研修」を実施し、その交流は合併後の現在も派遣事業並びに受入事業として引き継がれ相互交流が実施されている。令和3年に姉妹都市提携35周年を迎えた。

人口：約15,695人(2022年)

面積：19.87平方km

気候：四季があり花巻に似ている。寒暖の差が大きく、冬は寒さが厳しい。

ルート：成田空港⇒シカゴ・デトロイト空港(約12時間)

⇒バーリントン空港(約2時間)

⇒ラットランド市(陸路約2時間半)



特徴：主な産業は観光、メープルシロップの製造。別名「Marble city(大理石の都市)」と呼ばれ、大理石の採石・加工で有名。市中心街の歴史地区は、100以上の建造物が国家歴史登録財として保全されている。

アメリカ合衆国

ウィスコンシン州クリントン村

花巻市との交流：合併前の東和町民が農業研修のためクリントン村に滞在した際、当時のクリントン村教育長宅にホームステイした。その際、クリントンと東和町との青少年相互交流について打診があり、昭和63年(1988年)に相互交流が開始され35年以上の交流が続いている。現在も花巻市からの青少年海外派遣やクリントンミドルスクール生徒の受入交流を行っている。

人口：約2,185人(2021年)

面積：3.63平方km

気候：夏はすごししやすい日が多いが寒暖の差が大きく、アメリカ国内では寒い州として有名。

ルート：成田空港⇒シカゴ・デトロイト空港(約12時間)

⇒クリントン村(陸路約2~6時間)

特徴：酪農と畜産が盛んでのどかな牧草地帯。クリントン村のあるウィスコンシン州内にキッコーマン(株)の醤油工場があり、親日的な地域である。

